



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月14日

上場会社名 株式会社フライヤー

上場取引所

東

コード番号 323A

URL <https://www.flierinc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 大賀 康史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 望月 剛

(TEL) 03(6212)5115

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	386	—	10	—	△5	—	△7	—	3	—
2026年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 4百万円(—%) 2026年2月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	1.13	1.12
2026年2月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2026年2月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2027年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2026年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2027年2月期第1四半期	1,389		312		22.0
2026年2月期	1,255		306		24.1

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 306百万円 2026年2月期 302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,632	—	175	—	100	—	88	—	58	17.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年2月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年2月期1Q	3,419,400株	2026年2月期	3,419,400株
2027年2月期1Q	—株	2026年2月期	—株
2027年2月期1Q	3,419,400株	2026年2月期1Q	3,417,260株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

文章中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業活動が全般的に活発に推移する一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや継続的な物価上昇、さらには深刻化する人手不足に伴う賃金上昇など、先行きの不透明感は依然として拭えない状況が続いております。このようなマクロ環境下、当社グループが属する情報通信業界におきましては、企業のDX推進や人的資本経営への関心の高まりが不可逆的なトレンドとして定着しており、生成AI技術の急速な進化と普及を背景に、SaaS市場およびAI関連市場は引き続き堅調に成長を続けております。

このような環境の中、当社グループは、「あらゆる『人』と『組織』が成長し、可能性がひらかれるプロダクトをつくる」というビジョンの下、「AI時代に求められる人材」の育成支援を行うべく、主力事業である「flier business」の継続強化及びM&Aを通じた生成AI活用支援を中心に取り組んでおります。また、当第1四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度に連結の範囲に含めた株式会社AISTepおよび株式会社Zealoxの事業がグループ業績に寄与しております。

<エンタープライズ事業セグメント>

当第1四半期連結累計期間においても、引き続き主力事業である「flier business」の成長に注力しました。営業プロセスの標準化による商談クオリティの安定化と、組織的なPDCAサイクルの構築を推進しております。デジタル人材支援サービス市場の拡大が予測される中、テクノロジーを有効に活用するための土台となる「良質なインプット」の重要性が改めて再認識されており、当社はビジネスパーソンの思考力を支える学習プラットフォームとして、提供価値の向上に努めております。当第1四半期連結累計期間における主な取り組みは以下のとおりです。

- ・「flier要約読書会」の本格始動：

多忙なビジネスパーソンでも準備不要で対話に参加できる独自設計のプログラムにより、組織の学びを効果的に実践知へ変換する支援を強化いたしました。

- ・「AIお悩み解決サーチ(β)」等の新機能リリース：

AIが膨大なコンテンツからユーザの課題に合致する書籍を推薦し、選書体験を革新する「AIお悩み解決サーチ(β)」の提供開始や、読書を「共有・対話」の体験へと拡張する参加型機能「みんなの投票箱」機能の提供開始により、ユーザーエンゲージメントの向上を図りました。

これらの取り組みにより提供価値の向上を図った結果、解約率は1%前後の低水準を維持いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は167,325千円、および、セグメント利益は82,343千円となっております。なお、当第2四半期連結会計期間以降も、さらなる提供価値の向上及び営業活動の継続強化を通じて、強固な成長基盤の構築を推進してまいります。

<コンシューマ事業セグメント>

当第1四半期連結累計期間は、「flier」をはじめ当社の既存サービスの質的向上による安定収益の確保に注力いたしました。機能・企画の拡充や講座企画のブラッシュアップを通じ、ユーザの体験向上と定着率の強化を推進しております。

一方で、当社グループは個人向けの生成AI活用支援やリスクリングの支援にも注力し、更なる事業領域の拡大を図っています。女性特化型Webデザインスクールを運営するZealox社においては、高い顧客満足度を背景に事業成長が加速しており、当セグメントの収益拡大を力強く牽引しております。また、AI研修事業を展開するAISTep社につきましても、高まるAI人材需要を捉え、次なる飛躍に向けた基盤整備を継続しております。

これらの取り組みを通じて、各事業の自律的な成長と収益力の向上を図り、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は219,081千円、セグメント利益は40,937千円となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高386,407千円、EBITDA10,566千円、営業損失5,355千円、経常損失7,873千円、親会社株主に帰属する四半期純利益3,855千円となりました。なお、当社グループは2026年2月期第3四半期より連結財務諸表の作成を開始したため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は721,319千円となり、前連結会計年度末に比べ135,787千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が113,076千円増加したことによるものであります。固定資産は668,317千円となり、前連結会計年度末に比べ1,767千円減少いたしました。この結果、総資産は1,389,636千円となり、前連結会計年度末に比べ134,020千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は661,009千円となり前連結会計年度末に比べ143,045千円増加しました。これは主に短期借入金が100,000千円、契約負債が45,706千円増加したことによるものであります。固定負債は415,645千円となり前連結会計年度末に比べ15,201千円減少しました。これは長期借入金が減少したことによるものであります。この結果、負債は1,076,654千円となり、前連結会計年度末に比べ127,844千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は312,982千円となり、前連結会計年度末に比べ6,175千円増加いたしました。これは利益剰余金が3,855千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、期初時点の見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	478,380	591,456
売掛金	55,856	58,209
前払費用	33,522	34,086
その他	18,100	38,054
貸倒引当金	△327	△488
流動資産合計	585,531	721,319
固定資産		
有形固定資産		
建物	41,446	41,446
減価償却累計額	△12,341	△13,230
建物（純額）	29,105	28,215
工具、器具及び備品	21,053	21,053
減価償却累計額	△12,839	△13,272
減損損失累計額	△1,712	△1,712
工具、器具及び備品（純額）	6,502	6,069
有形固定資産合計	35,607	34,285
無形固定資産		
のれん	567,392	553,207
ソフトウェア	876	807
無形固定資産合計	568,269	554,015
投資その他の資産		
敷金	40,864	38,631
繰延税金資産	17,927	32,161
その他	7,415	9,224
投資その他の資産合計	66,207	80,016
固定資産合計	670,084	668,317
資産合計	1,255,616	1,389,636
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,752	6,135
短期借入金	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	60,654	60,954
未払金	73,495	69,932
未払費用	12,022	53,577
未払法人税等	26,414	8,115
未払消費税等	16,293	12,691
契約負債	242,227	287,934
賞与引当金	18,542	-
役員賞与引当金	4,150	334
その他	8,411	11,334
流動負債合計	517,963	661,009
固定負債		
長期借入金	430,846	415,645
固定負債合計	430,846	415,645
負債合計	948,809	1,076,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	614,999	614,999
資本剰余金	593,999	593,999
利益剰余金	△906,807	△902,952
株主資本合計	302,192	306,047
新株予約権	4,614	6,208
非支配株主持分	-	726
純資産合計	306,806	312,982
負債純資産合計	1,255,616	1,389,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	386,407
売上原価	65,687
売上総利益	320,719
販売費及び一般管理費	326,075
営業損失(△)	△5,355
営業外収益	
受取利息	143
雑収入	314
その他	107
営業外収益合計	565
営業外費用	
支払利息	2,418
雑損失	664
営業外費用合計	3,082
経常損失(△)	△7,873
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,873
法人税、住民税及び事業税	1,778
法人税等調整額	△14,233
法人税等合計	△12,455
四半期純利益	4,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	726
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,855

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	4,581
四半期包括利益	4,581
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,855
非支配株主に係る四半期包括利益	726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	エンタープライズ事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	167,325	219,081	386,407	—	386,407
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	167,325	219,081	386,407	—	386,407
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	82,343	40,937	123,281	△128,637	△5,355

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,391千円
のれんの償却額	14,184千円